

September 25, 2020

【前日の為替概況】ドル続伸、対円 105.53 円、対ユーロ 1.1627 ドル

24日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは5営業日ぶりに反発。終値は1.1672ドルと前営業日NY終値(1.1660ドル)と比べて0.0012ドル程度のユーロ高水準だった。欧州で新型コロナ感染が再拡大するなか、行動制限の強化による景気回復の遅れが懸念されてユーロ売りが先行。欧州株相場の下落に伴うリスク・オフのドル買いも入り、22時前に一時1.1627ドルと7月24日以来2カ月ぶりの安値を付けた。スペインでは新型コロナ感染者数が累計70万人を突破。感染が首都マドリードを中心に再拡大しており、当局者は「厳しい局面に差し掛かっている」と警鐘を鳴らした。また、フランスでは新型コロナの新規感染者が1万6000人近く報告され、1日あたりの感染者数として過去最多を記録した。

ただ、安く始まった米国株相場が持ち直すとリスク・オフのドル買いが後退。次第にユーロ買い・ドル売りが優勢となり、3時前に一時1.1687ドルと日通し高値を更新した。足もと下落が続いていた金価格が反発したことで、対資源国通貨中心にドル売りが進んだ影響も受けた。

ドル円はほぼ横ばい。終値は105.41円と前営業日NY終値(105.39円)と比べて2銭程度のドル高水準だった。日本時間夕刻に一時105.21円の日通し安値を付けたものの、売り一巡後は徐々に下値を切り上げ、105.53円まで値を上げた。NY市場に限れば狭いレンジでもみ合いに終始した。NY時間の安値は105.32円で値幅は21銭程度と小さかった。

なお、前週分の米新規失業保険申請件数は予想より弱い内容となった半面、8月米新築住宅販売件数は予想より強い内容となるなど強弱入り混じる内容となったため、相場の反応は鈍かった。

ユーロ円は上昇。終値は123.04円と前営業日NY終値(122.89円)と比べて15銭程度のユーロ高水準。欧州株安を受けて122.58円と日通し安値を付けたものの、米国株の上昇に伴う円売り・ユーロ買いが出ると123.16円と日通し高値を更新した。

南アフリカランドは堅調。ダウ平均が一時330ドル超上昇したことを受けて、リスク・オンのドル売りや円売りがランドに対しても出た。足もと下落が続いていた金価格が反発したことで、資源国通貨とされるランドに買いが入った面もあった。ランドは対ドルで16.8640ランド、対円で6.25円まで上昇した。

【本日の東京為替見通し】ドル円、リスク選好地合いで伸び悩む展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、リスク選好(NY株高・米金利低下)地合いで伸び悩む展開が予想される。

ドル円の注文状況は、上値には、105.60-90円には断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、105.00円にドル買いオーダーと29日のNYカットオプションが控えている。

ドル円のテクニカル分析では、陰線新安値5手で下落トレンドを形成した後、104.00円まで下ヒゲを伸ばした切込み線、4手連続陽線となっており、綾戻しの可能性を示唆しているものの、昨日の寄引同事線(始値105.40円・終値105.41円)が反落の可能性を示唆している。テクニカルポイントは、一目・基準線の105.48円、一目・雲の下限の105.97円に控えている。

トランプ米大統領は、明日26日に18日に逝去したリベラル派のルース・ベイダー・ギンズバーグ判事の後任人事を発表する。最有力候補としては、シカゴの連邦高等裁判所で判事を務める保守派の女性判事エイミー・コニー・バレット氏の名前が挙がっており、中西部のカトリック票を確保でき、ラストベルト(中西部地域と大西洋岸中部地域の一部にわたる脱工業化が進んでいる地帯)や五大湖周辺州での巻き返しが期待できる模様。

トランプ米大統領が目論んでいるように11月3日の米大統領選挙前に上院で承認された場合、米連邦最高裁判事9名中、保守派が6名(※3名がトランプ米大統領指名)、リベラル派が3名となる。トランプ米大統領が最高裁判事の承認を急ぐ理由は、米大統領選挙が、2000年の「ゴア対ブッシュ」のように接戦となる可能性、郵便投票の合法性が問題となる可能性などから、最終的な当落判断が最高裁に持ち込まれる可能性が高まっていることによる。

しかしながら、米民主党は大統領選挙後の指名・承認を要請しており、最高裁判事の人事を巡る共和党と民主党の対立が、現在難航している新型コロナ景気対策法案の協議をさらに難航させる可能性を高めている。米国憲法が規定する米連邦最高裁判事の要件は「品行方正」だが、その最高裁が「品行方正」ではないトランプ米大統領の再選を決定することになる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◇ 8月企業向けサービス価格指数（予想：前年比 1.2%）

<海外>

○08:01 ◇ 9月英消費者信頼感指数（Gfk 調査、予想：▲27）

○16:00 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演

○17:00 ◇ 8月ユーロ圏マネーサプライ M3（予想：前年比 10.2%）

○17:45 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演

○21:30 ◎ 8月米耐久財受注額（予想：前月比 1.5%／輸送用機器を除く前月比 1.2%）

○22:00 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

24日 16:21 中国外務省

「2人の豪州出身の学者の国外追放は完全に中国の主権の問題」「中国は中国の安全を害する行動や誤った情報を拡散することに対抗する」

24日 16:24 キングスレー・スウェーデン中銀理事

「長期的なインフレ予測は安定している」
「利下げの余地は限定的」

24日 16:35 スイス国立銀行(中央銀行、SNB)声明

「スイスフランの価値は依然として高い」
「スイスフランの上昇圧力に対抗して、介入する意思」
「回復は当面の間、部分的なものにとどまると予想」
「今年のGDPは5%程度の縮小になるだろう」

24日 17:56 オルセン・ノルウェー中銀総裁

「マイナス金利の導入は想定していない」

24日 17:59 ジョーダン・スイス国立銀行総裁

「為替介入はフラン上昇圧力に影響を与えた」
「非常に不確実な環境に対応するため、あらゆる手段を講じる」「現在の状況は3カ月前の予想よりそれほどネガティブではない」

24日 20:10 スナク英財務相

「中小企業向け緊急少額融資を6年から10年に延長」
「経営困難な気後湯は6カ月間、返済を猶予できる」
「ホテル・観光部門の付加価値税(VAT)の減税を拡大する」
「5%の付加価値税(VAT)を3月31日まで継続する」

24日 21:53 コペニー・アイルランド外相

「漁業面での協議はこれまでのところ失望」
「国庫補助は英EU協議で重要な事項」
「これまでのブレグジット協議は満足いく進展とは程遠い」

24日 22:35 ローゼングレン米ボストン連銀総裁

「米経済は逆風にさらされている」
「2%のインフレ目標に到達するのは遠い」
「FRBは数年間利上げしないだろう」
「財政不均衡がある場合は金利を引き上げる可能性」

24日 22:56 カプラン米ダラス連銀総裁

「ドルが準備通貨でなければ、米財政は維持が困難」
「マイナス金利は選択にない。金融市場を破壊する」

24日 23:54 ベイリー英中銀(BOE)総裁

「マイナス金利は手段の一つ」
「マイナス金利を実施するかどうかについてはまだ見当がつかない」

25日 00:09 ムニューシン米財務長官

「景気刺激策についてペロシ米下院議長(米民主党)と協議する予定」

25日 00:10 ペロシ米下院議長(米民主党)

「景気刺激策についての協議再開を早期に望む」

25日 00:36 パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長

「追加の政府支援がなければ、経済に下振れリスク」

25日 01:05 ブラード米セントルイス連銀総裁

「2020年末までに米国は完全回復に近付く可能性」
「失業率は今後数カ月で急速に低下する可能性」
「失業率は4.6-5.2%に低下する可能性」
「FRBの政策と財政政策は非常に効果的」
「ダウンサイドリスクは引き続きある」
「現在のところ、金融緩和策は概ね適切」
「2021年は通常よりもインフレ圧力が高まる可能性」
「FRBは政策と経済について見守る余裕がある」
「インフレは来年すぐに2%に上昇する可能性」

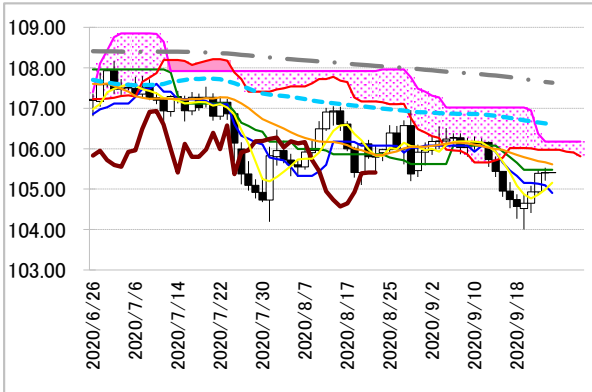
25日 01:12 モルノー加財務相

「100年来の低金利がコロナウイルスにより打撃を受けた人々への加政府による支援実行を手助けしている」

25日 02:14 エバンズ米シカゴ連銀総裁

「FRBは経済支援のためにあらゆる手段を講じる」
「これまでの支援終了による需要の穴埋めのために、さらなる財政支援が必要」
「米国は、税制援助を行わないことで失業者の家庭に生じる不必要なリスクを深刻に捉えている」
「少数派な環境周縁に属する人々や企業は、コロナ感染での不景気による不公平で計り知れない重荷を課されている」「コロナ感染が十分に抑制できるまで回復は難しい」「感染拡大が長期化なら景気後退は長引く」
「FRBは、完全雇用と物価安定による経済の信頼が軌道を回復するまで、あらゆる手段を駆使するとコミット」
※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

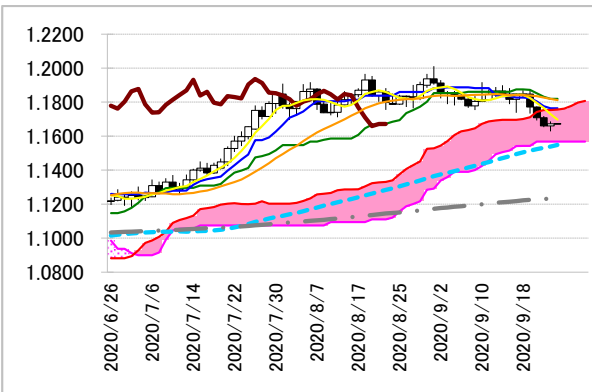


<ドル円=9/22 安値を支持に押し目買いスタンス>

寄引同事線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。陰線新安値5手で下落した後、4手連続陽線で戻りの可能性が示唆されている。しかし、寄引同事線による反落の可能性には要警戒か。

本日は、9月22日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.97(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	105.41
サポート1	104.41(9/22 安値)
サポート2	104.00(9/21 安値)

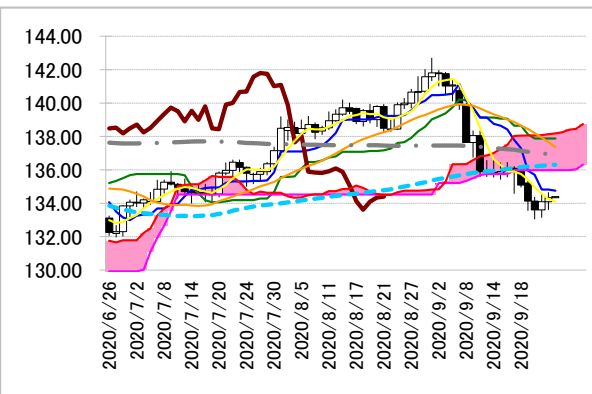


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。高値圏での逆行現象、4手連続陰線の後、孕み線で反発したものの、で転換線を下回っていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1764(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1672
サポート1	1.1567(日足一目均衡表・雲の下限)

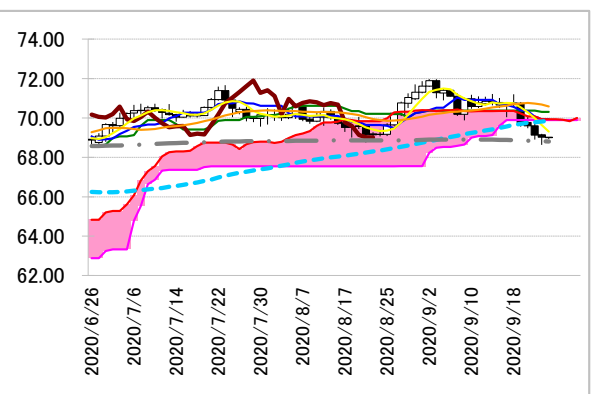


<ポンド円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。4手連続陰線で下落後、2手連続陽線で反発しているものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	134.76(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	134.34
サポート1	133.05(9/22 安値)



<NZドル円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。5手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	69.93(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	69.02
サポート1	68.64(9/24 安値)

